

整 理 番 号 2017M-089  
補 助 事 業 名 平成29年度 九州地方成長産業戦略に基づく(九州Earth戦略)イノベーション創出事業 補助事業  
補助事業者名 一般財団法人 九州産業技術センター

1 補助事業の概要 <http://www.kitec.or.jp/29hojyojigyau.pdf>

(1) 事業の目的

九州地方成長産業戦略(九州Earth戦略)や広域連携に基づき、中堅中小企業・中核企業・ベンチャー企業の持続的な発展を目指し、コーディネータ活動による新事業の創出、国プロ案件の発掘、及び事業化支援を促進しイノベーション創出を図る。

(2) 実施内容

①地方成長産業戦略調査研究

事業推進委員会を年2回(6/14、2/23)開催し、機械工業振興チャレンジ研究調査8件を審査し6件を採択した。また、「平成29年度自己評価Ⅰ」、「平成27年度自己評価Ⅱ」、「H30年度JK A補助事業」について審議・承認した。

事業化可能性検討分科会を年3回(5/31、10/24、2/15)開催し、過去3カ年程度実施してきた研究開発支援に係る事業性について、検討、評価、継続研究、追加支援の必要性について4社を審議し、事業を管理する目的は達成した。

事業性評価ワーキンググループは年14回(書面開催3回、コーディネータ連絡会と兼ねて開催3回、単独開催8回)開催することで、ニーズあり案件の迅速な対応が図れている。

事業全体を統括・管理する位置づけとして、事業推進委員会、事業化可能性検討分科会、及び事業性評価ワーキンググループを設置し、コーディネータ活動やブラッシュアップ研究会開催による技術開発支援を実施してきた。事業推進委員会や事業化可能性検討分科会の外部有識者の貴重な意見は、「②事業創出調査研究」を推進していく上で、実施状況を評価しフィードバックすることにより効果的な活動ができた。

また、事業性評価WGを年14回開催することで、中小企業から預かったニーズに対して、タイムリーな対応、的確な指導ができるようになり、他にない取り組みを行うことができた。



【事業推進委員会開催風景】



【事業化可能性検討分科会開催風景】



【事業性評価ワーキンググループ】

## ②事業創出調査研究

ニーズ・シーズ・マッチング件数については、目標20件に対して26件で目標値を上回った。ブラッシュアップ研究会の件数については、目標26件に対して、21件（継続案件を含めると27件）、研究会の開催回数は目標78回に対して、59回で目標値を下回った。セミナー・ニーズ発表会については、目標は開催回数2回、参加数延べ100名、満足度80点に対して、開催回数3回、参加者数145名、満足度83点といずれも目標を上回った。ベンチャー企業訪問数は、ベンチャー企業の定義として設立5年以内の企業としたが、5社と目標達成した。

事業の実施結果については、ブラッシュアップ研究会発足件数・開催回数において目標をやや下回っているものの、それ以外の項目においては、コーディネータ活動から事業化までのプロセスにおいていずれも高い成果を出しており、全体として極めて高いレベルの事業であった。今年度から始めたセミナーについては、当財団が事務局を務める九州環境エネルギー推進機構（K-R I P）と連携し、アジア環境エネルギービジネスセミナーとして台湾編、ベトナム編の2回開催し、100名の来場で有意義なセミナーを開催することができた。

九州域内の中堅・中小企業に対し、各支援機関のハブとして連携し、コーディネータ活

動、研究会開催等から事業化までを一貫して支援しており、この取組は多くの中小企業から高く評価されている。

また、事業創出2件、成功報酬型コーディネータ事業への引継ぎ4件、サポイン等国プロ等へ6件申請するなど、事前計画で想定した以上の成果があり継続が求められている。更に過去に当財団がJKA補助事業として支援した企業4社が「第7回ものづくり日本大賞」を受賞した。



【ブラッシュアップ研究会開催風景】



【コーディネータ連絡会開催風景】



【コーディネータ活動風景】





【セミナー・ニーズ発表会開催風景】

## 2 予想される事業実施効果

本事業について中堅・中小企業や九州経済産業局からも高い評価を受けて、「九州地域ものづくり中小企業事業化支援事業（地域間技術交流）」に繋がるなど想定外の事業の成果・波及が生じている。

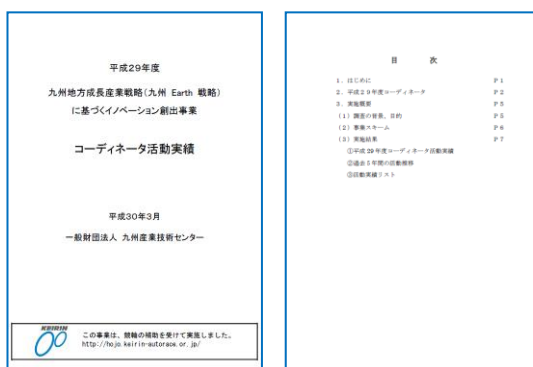
平成30年度に国プロ等へ2件提案や機械工業振興チャレンジ研究調査（公募）へ5件申請が来るなど、研究開発は活発化している。また、H29年度から補助対象に加えていただいた事業プロデュース活動は3社7回と少なかったが、成功報酬型コーディネータ活動の契約は着実に増加しており、事業化の芽は着実に育まれているといえる。

### 3 補助事業に係る成果物

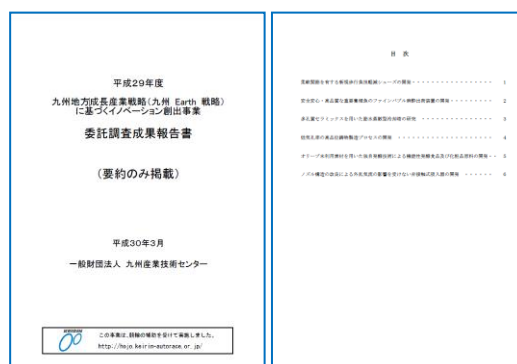
- ・平成29年度九州地方成長産業戦略(九州Earth戦略)に基づくイノベーション創出事業  
平成29年度コーディネータ活動 《パンフレット》



- ・平成29年度九州地方成長産業戦略(九州Earth戦略)に基づくイノベーション創出事業  
コーディネータ調査報告書 《We bデータ》  
<http://www.kitec.or.jp/h29matching-chosa.pdf>



- ・平成29年度九州地方成長産業戦略(九州Earth戦略)に基づくイノベーション創出事業  
委託調査成果報告書(概要版)  
《公開用》



(2)(1) 以外で当事業において作成したもの  
該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般財団法人 九州産業技術センター（キュウシュウサンギョウギジュツセン  
ター）

住 所： 〒812-0013  
福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目13番24号

代 表 者： 会長 麻生 渡（アソウ ワタル）

担当部署： 技術振興部（ギジュツシンコウブ）

担当者名： 技術振興部長 木太久 一郎（キタク イチロウ）

電話番号： 092-411-7394

F A X： 092-472-6688

E-mail： <mailto:info@kitec.or.jp>

U R L： <http://www.kitec.or.jp>